



製品安全データシート

【1. 製品及び会社情報】

製品名 ディックストッパー／ニューストッパー
会社 大日製罐株式会社
住所 〒101-0021 東京都千代田区外神田2丁目16番2号
担当部門 プラスチック事業部 プラスチック営業部 TEL 03-3251-5214
緊急連絡先 〒365-0062 埼玉県鴻巣市箕田吉右門3132番地
埼玉工場 プラスチック製造部 TEL 048-596-5528 FAX 048-597-0118

作成日 : 2000年12月14日
改訂日 : 2014年04月01日

整理番号 : BBCMS-1010

【2. 危険有害性の要約】

人の健康に対する有害な影響 : 高分子化合物で生理学的に不活性であり、特に危険性はない。

環境影響 : 野外へ放置した場合、動物が飲み込み窒息する可能性がある。

物理的及び化学的危険性 : 通常の取扱い条件下では特に危険性はない。

GHS分類 : 分類できない、分類対象外

ラベル要素

絵表示 : 非該当

注意喚起語 : 非該当

危険有害性情報 : 非該当

注意書き : 非該当

【3. 物質の特定】

单一製品・混合物の区別 : 単一製品

化学名又は一般名 含有率 官報公示整理番号(化審法) CAS No.

ポリプロピレン
(ブロックコポリマー) 100% あり 9010-79-1

※ 原材料にカドミウム・鉛・六価クロム・水銀・ポリ臭化ビフェニル・ポリ臭化ジフェニルエーテルは使用しておりません。

【4. 応急処置】

目に入った場合 : 眼球を傷つける可能性があるので、大量の清水でよく洗う。

高温の溶融状態で皮膚に付着した場合は : 大量の冷水をかけて充分に冷却する。

溶融樹脂から発生するガスを吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移ること。

飲み込んだ場合 : 医師に連絡すること。救急措置を施し、このMSDSを示して、医師の診断を受ける。

本データシートは、一般的な取り扱いを対象について、現時点で入手できる資料・情報・データに基づいて作成しており、記載の情報は新しい知見により改訂されることがあります。
また、記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。

【5. 火災時の処置】

消火方法 : 製品を火元から遠ざける。

初期火災は多量の水や消火剤を用いて消火する。 保護具着用の事。

消火剤 : 水、二酸化炭素、泡消火剤、粉末消火剤

【6. 漏出時の処置】

人体に対する注意事項 : 本品は床に散らかった場合滑りやすいので速やかに処理をする。

環境に対する注意事項 : いかなる場所でも放出してはならない。本品を掃き取り、回収または廃棄する。

【7. 取扱い及び保管上の注意】

取扱い : 可燃性があるため、作業場では火気をみだりに使用する事を避け、整理整頓に努める。

運搬時は落下させたり、急な持ち上げ作業をしない。

保管 : 直射日光・水濡れ・急激な温度変化を避ける。貯蔵場所ではみだりに火気を使用しない。

長時間の保管は避けて、出来るだけ早めに使用する。

【8. 暴露防止措置】

許容濃度 : 日本産業衛生学会 : 知見なし

設備対策 : 通常作業時には必要ないが、粉塵が発生する場合は、作業場の換気を充分に行う。

保護具 : 通常作業時には必要ないが、粉塵が発生する場合は、防塵マスクを着用する。

【9. 物理的及び化学的性質】

物理的状態 形状 : 固体

臭い : 無臭

物理的状態が変化する特定の温度/温度範囲

融点 : 150～165°C

比重 : 0.88～0.92

引火点 : 約375°C (推定)

発火点 : 約490°C (推定)

燃焼熱 : 11000 kcal/kg

水に対する溶解性 : 不溶

【10. 安定性及び反応性】

安定性 : 常温では安定

反応性 : 自己反応性・爆発性なし

可燃性 : あり

【11. 有害性情報】

皮膚腐食性・刺激性・感作性・変異原性・生殖毒性・催奇形性・急性毒性・慢性毒性 : 特に知見なし

癌原性 : IARC の発がん性区分でグループ3 (人に対して発がん性について分類できない)

【12. 環境影響情報】

分解性・蓄積性・魚毒性 : 特に知見なし

本データシートは、一般的な取り扱いを対象について、現時点で入手できる資料・情報・データに基づいて作成しており、記載の情報は新しい知見により改訂されることがあります。
また、記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。

【1 3. 廃棄上の注意】

産業廃棄物処理業者と委託契約を結び、廃棄物の内容を明確にして、処理を委託して下さい。

【1 4. 輸送上の注意】

国連分類：国連定義の危険物に該当しない。

火気・水濡れ厳禁。変形の原因になる乱暴な扱い（落下・衝撃・引きずる等）をしない。

【1 5. 使用上の注意】

梱包物の重量に合ったストッパーを使用する事。

- ① 引き締め状態が正常である事を確認する事。引き締め不良があると、バンドが外れ、商品の損傷や怪我をする事があります。
 - ② 直射日光の当たらない冷暗所にて保管する事。
 - ③ ストッパーが50°C以上の高温や、-10°C以下に曝された状態での取り扱いに注意する事。
ストッパーの変形、伸び、衝撃性の低下の原因になり、商品の損傷や怪我をする事があります。
-

【1 6. 適用法令】

労働安全衛生法：該当しない

消防法：法第9条の4・危険物規則令第4 指定可燃物 合成樹脂

外国為替及び外国貿易法：輸出貿易管理令別表16項該当品目(チャッコール規制物質)に該当するので、
経済産業省のガイドラインの参照が望ましい。

化学物質排出把握管理促進法：該当しない

【1 7. その他】

本文章は、製品の安全情報を記したもので、記載の情報は新しい知見により改訂されることがあります。

本データシートは、一般的な取り扱いを対象について、現時点で入手できる資料・情報・データに基づいて作成しており、記載の情報は新しい知見により改訂されることがあります。
また、記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。